

接点	確度	備考
アカウント「akay」、 「vfinder」の削除	強	報告されているのは「MALXMR.UWEKB（2019年）」と今回の「lambsys（2026年）」のみで、他のファミリーには見られない。
ドロッパ名：is.sh / isp.sh	中	似ているが、同一ではない。公開リポジトリに中間状態の亜種は見当たらない。
ファイル名「/ var/tmp/init_rmount」	強	過去の公開情報には、この名前が一切みられない。2024年版と2026年版の両lambsysに存在しており、lambsysに特有のファイル名である。
「known_hosts」を用いたSSHワーム機能	中	一般的な手口であり、「Kinsing」や「TeamTNT」、「Outlaw」といった他のマルウェアシステムでも使用されている。lambsysの系譜に固有のものとは言えない。
XMR-Stak から XMRig への移行	弱	2019年から2021年にかけて業界全体で見られた技術的トレンドであり、系譜に固有の動きとは言えない。
ブロックチェーンC&C から HTTP通信C&C への移行	中	関連するMALXMRの亜種（UWEKV）はイーサリアムのブロックチェーンをC&Cとして悪用したが、今回のlambsysは普通のHTTPを利用している。一貫した「簡素化の流れ」に沿ったものと言える。
シェルスクリプト から Go言語 への移行	弱	近代化に向けた一般的なトレンドと言える。 KORKERDSやMALXMRにおいて、Go言語の亜種は報告されていない。 lambsysの2024年版と2026年版を比べると、C&C通信が進化している。接続先のIPやパス（エンドポイント）が変化したことに加え、平文の被害者IPではなくUnixタイムスタンプを載せるなど、「段階的」に刷新されている。これは、共通のソースコードをベースにして、作戦保全面で洗練させていった証拠であり、ゼロからの作り直しではないことを示している。
Pastebinに公開されていたKORKERDSの設計情報	N/A	誰でも自由にコピーできる状態だったため、「同系譜である」という主張の意義がかって弱められる。